

2003（平成15）年の貧酸素水塊のまとめ

昨年の貧酸素水塊についてまとめました。貧酸素水塊は底びき網などの漁船漁業に影響が出たり、青潮の発生につながります。

1. 底層の溶存酸素量分布（図8-1～8-2）

「貧酸素水塊速報」（FAX・ホームページ）として発行している底層の溶存酸素量（DO）分布をならべてみました。貧酸素水塊は一時期3月に発生しました。継続的な発生は4月28日に始まり、11月5日まで続きました。一昨年（平成14年）が5月7日～11月5日でしたので、ほぼ同期間です。

この調査には東京都環境局、内湾底びき網連絡協議会、千葉県環境研究センター、神奈川県水産総合研究所のほか、本年から海上保安庁海洋情報部から千葉灯標に設置された水質監視装置「モニタリングポスト」のデータも提供していただくことになりました。担当者の方々には無理を言って観測当日にデータを提供していただきました。ご協力ありがとうございました。

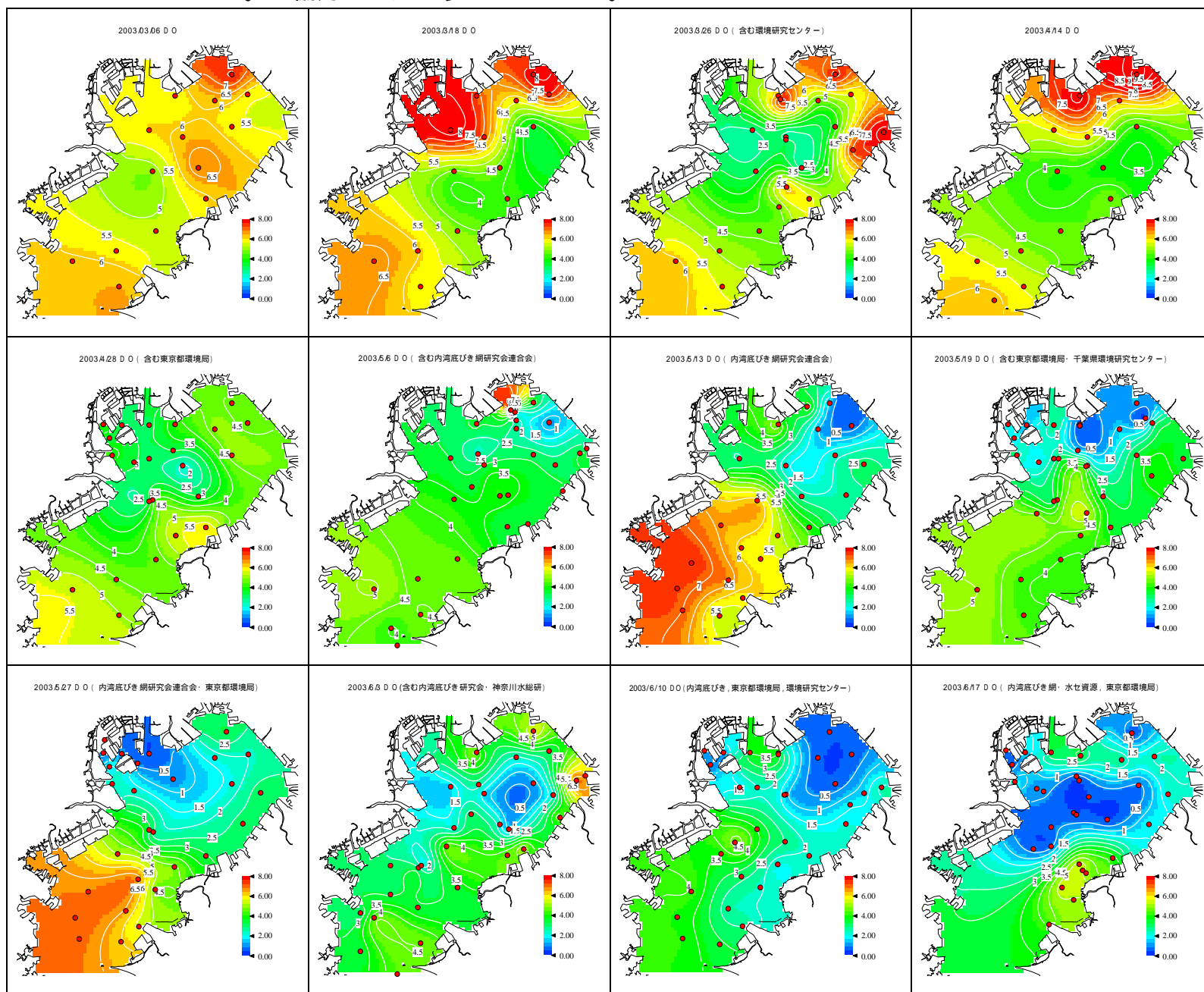


図8-1 平成15年の底層の溶存酸素量分布 (mg/L) つづく

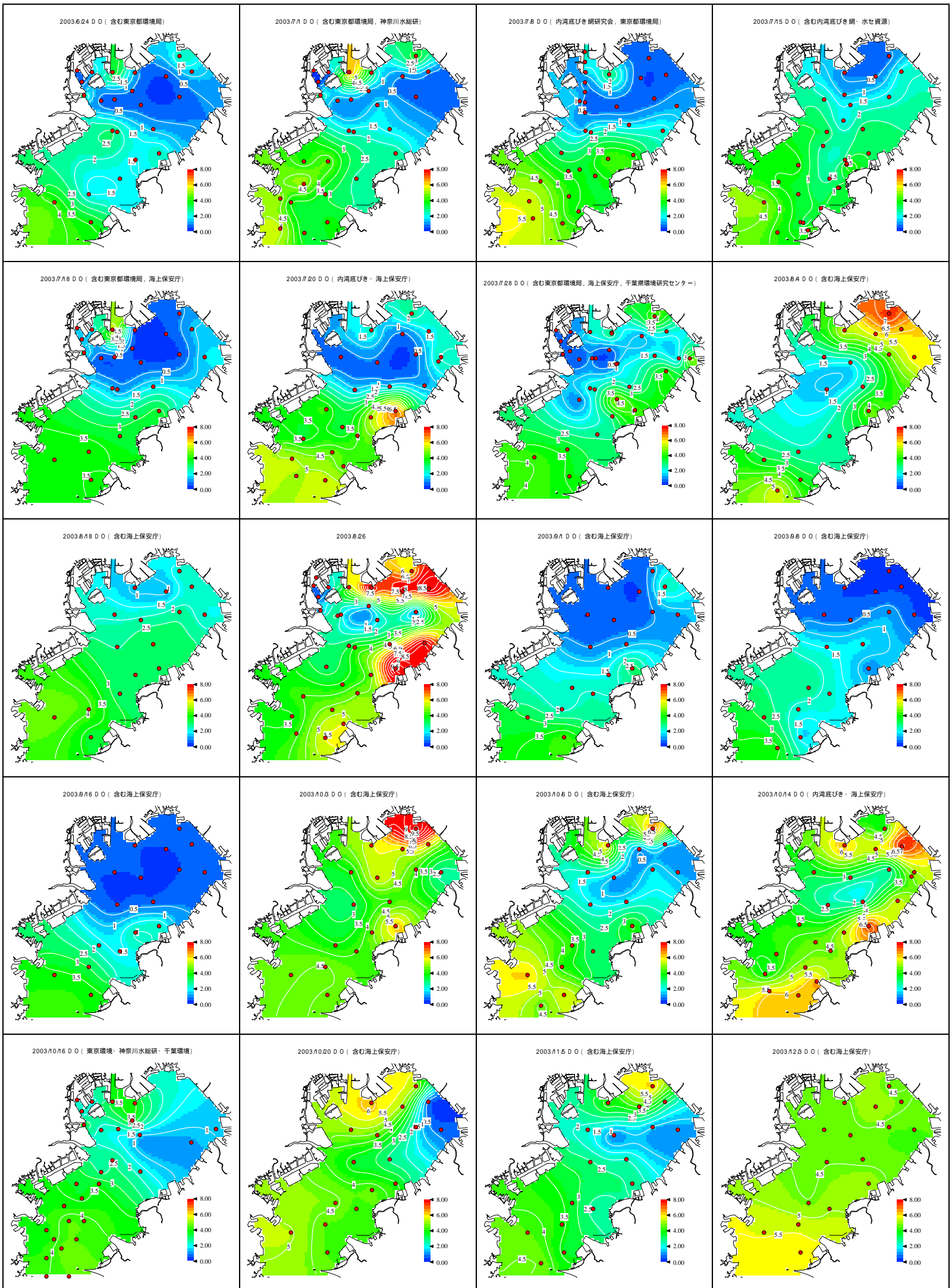


図 8 - 2 平成 15 年の底層の溶存酸素量分布 (m/L)

2. 内湾鉛直縦断面の溶存酸素量分布からみた貧酸素水塊の大きさ(図9～11)

水産研究センターと内湾底びき網研究会連合会でおこなっている水質調査点のうち内湾中央南北の5点(図10途中から6点に変更)で求めた鉛直縦断面の溶存酸素量分布から貧酸素水塊の大きさを表しました。図9は調査ごとの鉛直縦断面の溶存酸素量分布, 図11は溶存酸素量分布のうちの貧酸素水(2.5m/l以下)部分の面積比(貧酸素水割合)を示したものです。

今年は7月までは例年並, 8月は冷夏のため小規模, 9月に1度大規模化しましたが, 例年より早く縮小しました。昨年の最大割合は63%と近年と同規模でしたが, 規模の大きい期間が短い年でした。

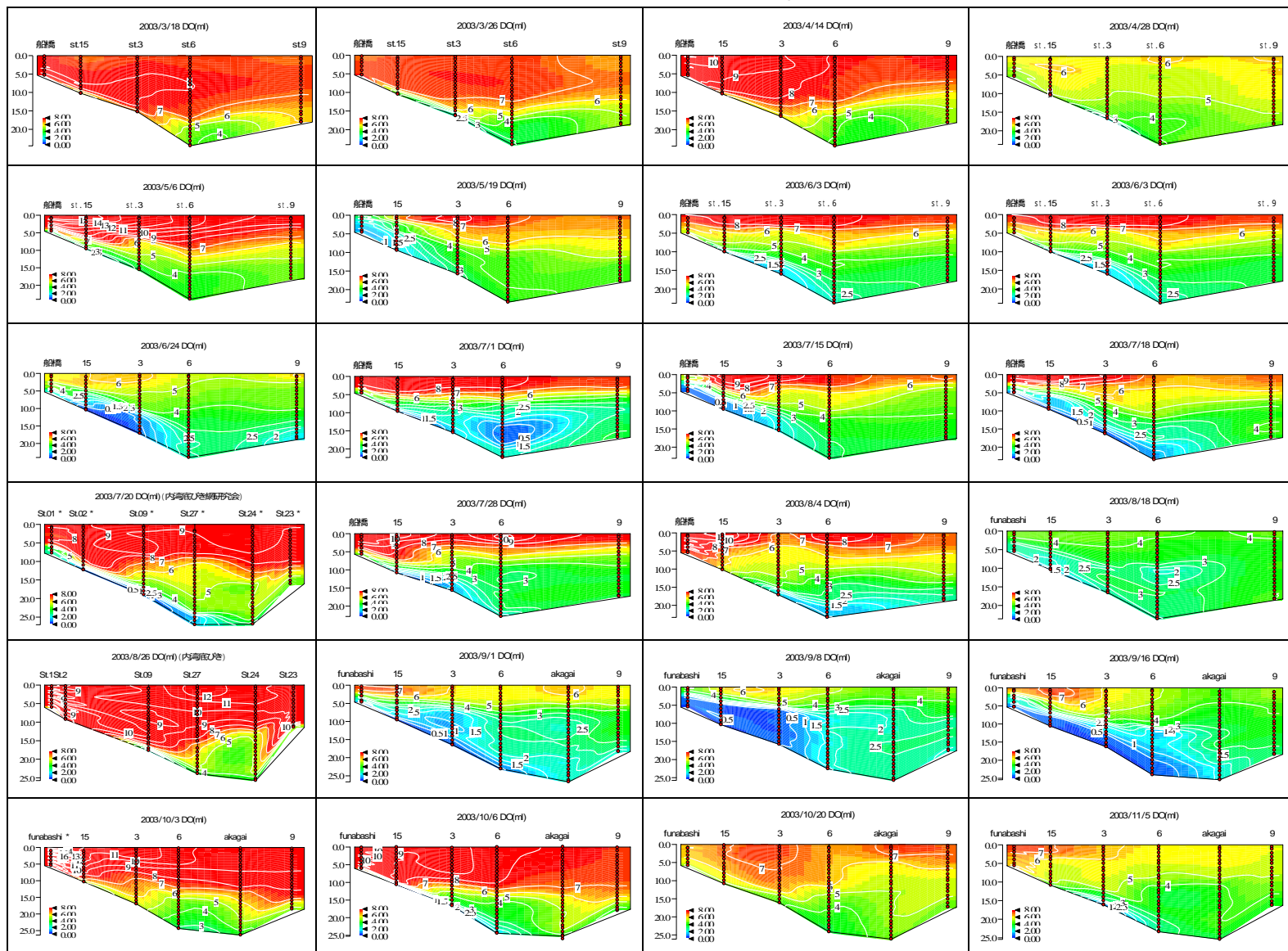


図9 平成15年の鉛直縦断面の溶存酸素量分布 (m/l)



図10 鉛直縦断面の調査点

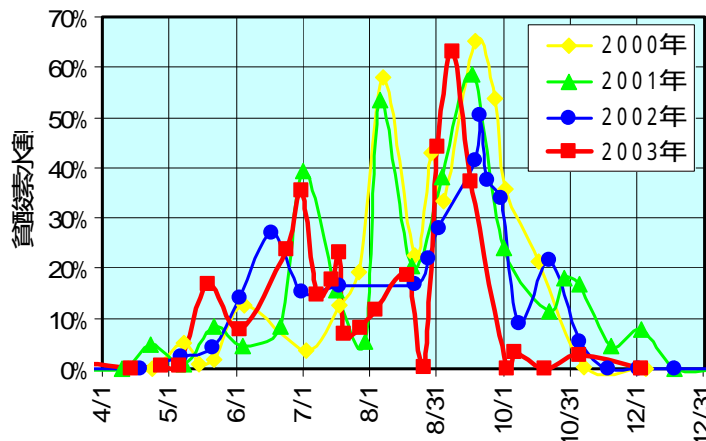


図11 鉛直縦断面の貧酸素水割合(2.5m/l)

3. 今年の青潮の発生状況(表2)

環境生活部の集計によると, 昨年の青潮の発生は5月16~19日と9月22~24日の2回でした。

表2 最近の青潮の年度別発生状況

| | | | | | | | | |
|------|---|---|----|----|----|----|----|----|
| 年度 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 発生回数 | 3 | 2 | 4 | 2 | 5 | 4 | 4 | 2 |

